

## つくばチャレンジ 2013 参加者説明会議事録

時 間：平成 25 年 7 月 6 日（土）15:00～16:30

場 所：つくば国際会議場（エポカルつくば）中会議室 202

参加チーム：別項参照

### 説明会の次第と議論内容

#### 1.あいさつ

油田信一実行委員長とつくば市国際戦略総合特区推進部長（梅原弘史部長）よりあいさつがあった。特に、油田実行委員長より「つくばチャレンジ」は参加者が良い実験を行うための場であり、運用の仕方についても、参加者の意見、希望に基づいて行っていきたいので、積極的に意見を求めているとの説明があった。

#### 2.参加チーム自己紹介

各参加チームが、各々簡単な自己紹介を行った。

#### 3.つくばチャレンジ趣旨や、課題、日程について

油田実行委員長から説明があり、各参加チームから意見が出された。

##### (1) 探索対象者について

探索対象者の服装や、脇に置く看板について改めて説明があった。  
服装の色等について若干検討を加え、更に服装等の情報はなるべく詳しく HP 等で公表する。

##### (2) 探索対象者を発見した時のロボットの行動について

課題の文中の「ロボットが探索対象者の前で 3 秒間停止したことで、見つけたことを態度で示す」について質問があり、議論の上、「3 秒間以上、停止すること」とした。  
また、「運用上ロボットの一部が探索対象者の人の 1m 以内に停止」とあるが、これは近すぎるとの意見があり、「1.5m」に変更することとした。これらについては早速 HP 上の課題を修正する。

##### (3) 遵守事項におけるロボットナンバーのサイズと取り付け場所について

サイズは縦 11cm×横 13cm 以上。取り付け位置は、地上 5cm 以上（当初は 5cm～40cm）と変更する。

##### (4) 遵守事項の[7]走行時の無線による操作及びモニタの禁止について

この項目について、質問があり、油田実行委員長よりこの項目の修正すべきところが直っていなかったため、「モニタ」部分を削除すると修正する旨の説明があった。  
また、遵守事項[8]の非常停止や一旦停止後の簡単な走行再開指示について、2013 年の課題に、一旦停止は無いので、一旦停止に関する事項は削除する旨の説明があった。

なお、無線による操作については、安全の為にむしろ必要との意見も出され議論された。その結果、市民への誤解の理由になり得ること、また、安全性としてロボットの誤動作等の非常時については、無線の利用が安全確保を妨げる恐れがあることより、無線によるロボットの操作は行わないこととした。

#### 4.安全性の確保について

つくばチャレンジ第1ステージの時から、実験の安全性の確保について、積極的な役割を果たしてきた、飯島純一実行委員（明治大学教授）より、安全の為の注意事項や走行に先立って安全性の確保について、説明と注意があった。

#### 5.意見交換

##### ・非常停止スイッチについて

非常停止スイッチをケーブルで接続し、それを主任オペレータが持ち歩くことについて質問があり、安全確保の観点から議論があった。

これに対し、油田実行委員長より、実験走行時は問題ないが、本走行や記録走行では、いざという時に対処する為とは言え、ケーブルをつないで走行するというのは自律性という観点から避けたい旨の方針が示された。

以上